

はじめに

江戸中期の明和二年（1765）、鈴木春信らによつてはじまつた多色刷りの浮世絵版画は「錦絵」と呼ばれ、江戸文化の華として隆盛を極めました。その中で、「江戸名所百人美女」は、浮世絵版画が技術的にも美術的にも最高レベルに達していた江戸末期に出版された、記念すべき作品群です。

「江戸名所百人美女」の人物部分を描いた三代目歌川豊国は、天明六年（1786）、江戸の本所に生まれ、十六歳のとき初代豊国に入門し、二十二歳頃から「国貞」の名前で絵師としての活動を開始しています。

五十九歳の弘化元年（1844）に、二代目豊国を襲名して、歌川派の総帥となりました。ただし、国貞のほかにも二代目を称する初代豊国の養子がいたため、後世の表記は三代目となります。元治元年（1864）、七十九歳で亡くなるまでに描いた浮世絵は数万点に及ぶともいわれ、その作品数の多さと人気は不動のものです。

同時期に活躍した歌川広重が名所絵、歌川国芳が武者絵で評判を上げていたのに対し、国貞は似顔絵と呼ばれた人物画で高い評価を受けていました。特に、歌舞伎の舞台を描いた役者絵と、吉原や岡場所と呼ばれた花街の女性たちを描いた美人画は並ぶものがないとまでいわれていました。その国貞が「豊国」として円熟のときを迎えた七十歳頃に

描いたのが、この「江戸名所百人美女」です。

美人画に添えられているコマ絵の名所絵を描いているのは、二代目歌川国久です。国久は豊国の弟子で、娘婿として養子になつた絵師です。「江戸名所百人美女」を描いたときはまだ二十五歳前後でしたので、絵の趣向などは豊国の指示通りだつたと推測できます。そのため、作品全体の絵師は豊国と考えてよいでしょう。

豊国と国久、二人の絵師が百人の美女を通して描いた、江戸の女性たちの生き方や暮らしあとはどんなものだったのか。それを「絵解き」する、つまり読み明かすことが、本書の目的です。

まず、美女百人をひと通り眺めると、そのバラエティーに富んだ顔ぶれに驚きます。年齢はこれから美人になる十二歳頃の少女から、昔美人だった七十歳頃のおばあさんまでいます。花嫁修業の娘から、茶屋で働く娘、芸者、遊女、妾、大店の内儀、料理屋の女将、大奥勤めの女中など多種多様で、まさに職業図鑑ともいうべき陣容です。

また、美女の中には実在の人物をモデルとしているケースもあり、リアルティーのある描写にも興味が湧きます。

今回は、北海道立近代美術館のご協力をいただき、高橋博信浮世絵コレクションの中から「江戸名所百人美女」百点をすべてデジタル画像として拝見し、考証することがで

きました。

もちろん、実物の浮世絵に勝るものはありませんが、デジタル画像を隅々まで尋め回すように、拡大して見ることができました。おかげで、今までお歯黒かどうか判断のつかなかつた口の中や、眉の剃り跡まで確認できました。また、着物の柄も地模様までわかりましたので、その柄が表す意味まで理解することができたのです。

何よりの発見がコマ絵です。これまで、小さくて不鮮明に見えたコマ絵が、彫師の鑿^{のれん}痕までわかるほど細かく見ることができたのです。おかげで暖簾や提灯の屋号も判読が可能になりました。本当にハイテク技術はすごいです。改めて感動しました。

読者の皆さんも、虫眼鏡やルーペを片手に絵を拡大して見てください。そうすれば、私の書いていることが、理解していただけると思います。

そして、もう一つ大きな発見がありました。江戸絵画の一つに「判じ絵」というものがあります。絵の中に、一見絵とは関係ない文字や人や物などを書き込んで、それを謎解きさせる趣向の絵ですが、なんと、「江戸名所百人美女」の中にも、判じ物がたくさん入っていました。しかも、江戸の地誌や年中行事、歌舞伎や音曲といった江戸文化に関する知識がないと解けないものが多いのです。まるで、豊国と国久が絵を見る人たちに、江戸の常識を問う「江戸検定」の出題をしているようです。もちろん、当時の人々

はコマ絵と美女の姿を見て、この判じ物が解けたのでしょうか。だから絵を買って、面白いと話の種にしたのです。

しかし、残念ながら後世になると、浮世絵の美術的価値や、美女の髪型や化粧、衣裳が注目されがちで、コマ絵を解説した書籍や図録はほとんどありませんでした。中には、コマ絵と美女の関係性はないだろうという解説すらあるのです。

しかし、今回コマ絵をじっくりと考証してみると、この場所だからこそ、この美女を描いたのだという必然性をさまざまと見せつけられたのです。

本書を読む際に、まずはコマ絵に描かれた名所を地図で探して、その風景を思い浮かべてください。もし、想像できないという方は、「江戸名所百人美女」とほぼ同時期に出版された歌川広重の「江戸名所百景」で、同じ場所を探してみることをおすすめします。コマ絵にそつくりの風景がかなりの点数で見つかります。どうやら豊国と国久は広重を尊敬していたようです。いい構図をちゃんと押借しています。この辺は江戸時代の絵師たちのおおらかな向上心なのでしょう。

それでは、じっくりと豊国の傑作を見ながら、江戸の美女たちの粹な暮らしぶりを絵解きしてみてください。

目次

「江戸名所百人美女」の名所索引図

江戸美人のみだしなみ① 髮型と化粧の基礎知識

016

江戸美人のみだしなみ② 着物と帯の基礎知識

018

華のムスメ世代

湯島天神

022

五百羅かん

023

十軒店

026

新大はし

027

猿若町

030

神田のやしろ

031

尾張町

034

人形町

023

白銀樹目谷

023

染井

026

いひ田まち

039

するがだい

042

梅やしき

043

東本願寺

047

046 043 042 039 038 035

働き盛りのオトナ世代

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 芝あたご | 御茶の水 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 霞ヶ関 | 芝神明 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 神楽坂 | 浅草寺 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 長命寺 | 目黒瀧泉寺 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 根津権現 | 赤さかの氷川 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 御船藏前 | 山王御宮 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 江戸はし | 京ばし | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 高繩 | 浅草田町 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 江戸はし | 吉徳稻荷 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 御船藏前 | 新吉原満花 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 江戸はし | よし原 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 高繩 | とりのまち | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 江戸はし | 大音寺まへ | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 御船藏前 | 千束 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 江戸はし | 品川歩行新宿 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 高繩 | 志ん宿 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |
| 江戸はし | 内藤新宿 | 091 | 090 | 087 | 086 | 083 | 082 | 079 | 078 | 075 | 074 | 071 | 070 | 058 | 055 | 054 | 051 | 050 |

妻・母・キャリアウーマンの世代

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-------|-------|------|-----|------|--------|--------|-----|-------|-----|-------|------|-------|------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 千住 | 花川戸 | 新はし | 駒形 | 白髭明神 | 鉄砲洲 | 上野山下 | 日くらしの里 | 志のばず弁天 | 洲崎 | 成田山旅宿 | 三園 | 今戸(二) | 王子稻荷 | 阿寿かやま | 呉服ばし | 首尾の松 | 豎川 | 日本はし | | | | | | | |
| 三田聖坂 | 八町堀 | 薬げんばり | 浅草すハ丁 | 今川はし | 御殿山 | 芝神明前 | 柳はし | 第六天神 | 171 | 170 | 167 | 166 | 163 | 162 | 138 | 135 | 134 | 131 | 130 | 127 | 126 | 123 | 122 | 119 | 118 |

木場

小梅

大師河原

柳島

墨水花盛

海晏寺

堀切菖蒲

三緑山増上寺

上野東叡山

堀の内祖師堂

溜いけ

四ツ谷

鏡が池

あさちがはら

根岸

鎧のわたし

小石川牛天神

築地門跡

186

187

190

191

194

195

198

199

202

203

206

207

210

211

214

215

218

219

222

223

おわりに

参考文献

HINT

1. 習字のおさらい帳が放り出されています。
2. 美女の手元に免課の番號があります。
3. 潤島天神の御利曲は学問だけではありません。

潤島天神

江戸
名所
百人美女



五百羅かん

解説

1. 「五百羅かん」では、百箇所のお参りができます。
2. 美女はいまどきのおしゃれな髪型と服装です。
3. おばあさんを優しく見つめているようです。



こっそり恋文を書く乙女 縁結びのデートスポットへ

湯島天神



湯島天神の創建は古く、南北朝の頃、京都の北野天満宮を分霊して祀ったことにはじまるようです。

祭神が菅原道真といふことで、学問や舊字の上達に御利益があり、江戸時代は手習いの師匠が弟子たちを連れて、作品を奉納するという行事もありました。

美女も文机に向かって、何か書いているよ

うですが、誰かに声をかけられたのか、慌てて書いたものを袖で隠しています。その手元をよく見ると、朱緑の巻紙に草書体で手紙を書いているようです。脇には蛇腹折りの手本らしきものが、閉じて裏返しになっています。さらに、机の下には、何度も練習して真っ黒になつたおさらい板も落ちています。

どうやら、習字のおさらいをしていた途中で、手紙を書始めたようです。果たして、どんな手紙でしょうか。朱緑の巻紙を使っているので、どうやら恋文のようです。親に見つかったら大変です。

美女の歳は、十二・三歳くらいでしょ?

商家の娘は七歳くらいから手習い(寺子屋)に通いはじめの十二、三歳になると花嫁修業として、三味線や常磐津などの音曲、裁縫など家の家事を仕込まれます。そして十七歳くらいで結婚するのですが、もちろん親が相手を決めます。しかし、女の子の中には恋心を抱く相手ができるてしまい、恋文を書くこともあります。

さて、その内容はといふと、コマ絵をヒントにするなら、どうやら湯島天神に呼び出すようですね。なぜなら、天神様は学問だけでなく縁結びの神様としても有名で、本殿の裏にデートに打つつけの茶屋が多くあります。髪型は鳥田笛に房飾りのついた花賀、前髪にリボンのような紅緞を結わえて、可愛さを強調しています。

着物は七宝織の桜模様で、帯にも表に宝相華と七宝柄を配し、裏面は子どもの健康を祈る麻の葉柄の鹿の子綾りという、いかにこの娘が大切にされているかがわかります。さて、手紙を見た娘はどうしたのでしょうか。



おばあさんにお供する 心優しいおしゃれさん

五百羅かん

現役の美女と昔の美女が登場です。場所は本所五ツ目にある天恩山五百羅漢寺で、536体の羅漢像が祀られています。堂に描かれた三面堂は、三層の建物内部がらん馬鹿になつていたため通称「さがな堂」と呼ばれ、堂の中には西国三十三箇所・坂東三十三箇所・秩父二十四箇所の觀音像が安置されており、ここに参ると百箇所が一度にお参りできるというので人気がありました。三階には見晴らし台があり、遠く富士山も見えたので、大勢の参拝者で賑わつた寺でした。

美女はまだ十五、六歳ほどの娘です。島田艶にたつぱりと布を巻くことで華やかな娘らしさを強調した「結紗」という年頃の町娘が結った髪型です。花簪を挿し、なんとか前髪は短く切つて可愛く結んでいます。江戸後期になると短い前髪が流行りましたが、これをすることはかなりのオシャレさんですから、この美女はハネツカえり娘かもしれませんね。

着物は緋紺に緋縫という、これも江戸後期に流行した柄です。袖の通りが透けているの

で、夏用の綿でしおうか。手に团扇と鏡の目傘を持ち、夏の一日、祖母のお供をする孝行娘です。

江戸の女子は、男子と同じように七歳くらいで男女美学の手習いの師匠のもとに通います。十二歳くらいで男女とも奉公に出るか、そうでなければ男子はそろはんを、女子は裁縫を習います。着物から下着まで着る物すべてを手作りする時代ですから、裁縫は花嫁修業の基本です。しかも他家の仕立物をすれば収入を得ることもできますから、内職としても重要でした。

さて、十七歳にもなれば通船期で嫁に行くか、茶屋などに働きに出ましたから、こうしておばあさん孝行ができるのもあと数年のことです。

おばあさんもうれしい一日だったことです。祖母を気遣う「おばあさま、大丈夫ですか」という声が聞こえそうな情景です。

1. 妻恋驕荷の伝説と関係があります。
2. 美女の後ろには勝負の舞台があります。
3. 白と黒の水玉模様の着物を着ています。

妻恋驕荷



木母寺

1. 木母寺は隅田川に接しています。
2. 隅田川にまつわる2つの和歌が手がかりです。
3. 美女は朱色の墨を使っています。



1. コマ横には三國権翁社の角旗が見えています。
2. 箕の右側に酒樽が描かれています。
3. 美文はかなり酔っ払っているようです。

墨水花盛



1. 品川沖と紅葉をともに盛める人気の場所です。
2. 着のない美女は、拂り支度をしています。
3. 美女は誰かを睨んでいるようです。

